

令和5年度事業報告書

社会福祉法人 大分県盲人協会

はじめに

昨年5月に新型コロナウイルス感染症は5類相当に分類されたことにより、4年ぶりの大分県盲人福祉大会をはじめ、第55回九州盲女性研修会の開催や九盲理事会等の参加、協会主催の多くの行事を開催することが出来ました。また、歩行訓練事業についても多くの利用者からのニーズを的確に把握する中、着実に取り組んできました。

今後も多く協会主催行事を実施してまいりたいと考えております。

以下事業項目を列挙する。

1. 第13回大分県盲人福祉大会の開催
(10月15日・大分市) 参加者 約200名
2. 役員会(理事会・評議員会)の開催
理事会(5/14・8/27・R6.3/3)
評議員会(6/11・R6.3/17)
3. 盲人福祉センターの管理・運営
4. 地域とセンターの利用者の交流を図るために、センターまつりを開催する(9月10日) 中止
5. ホーム「しののめ」の管理・運営
6. 就労継続支援B型事業所 作業所「なかしま」の管理・運営
7. 大分県点字図書館の管理・運営
8. 視覚障害者歩行訓練事業の実施
9. 視覚障害者生活訓練事業「生涯学習教室」の実施
(6/18・10/29・11/26・12/17) 参加者 約120名
10. 第40期中途失明者社会適応訓練事業の実施
11. GSB・STTをはじめ、体育振興事業の推進
12. 第55回九州盲女性研修会(大分市)
(7/30) 参加者 約70名
13. 点字情報ネットワーク事業の実施

14. 会報「バトン」の内容の充実（年4回発行）
15. 「新時代おおいた」をはじめ市町村広報誌など、点字印刷事業の推進
16. 視覚障害者の安心・安全な移動や環境整備運動を推進する
17. あはき協議会を中心に視覚障害者のあはき問題解消のための運動を推進する（あはき協議会総会 6/18午後、研修会 11/26午後）
18. 女性部活動の推進
19. 第34回「愛のともしび運動」の推進
20. 盲人用具の普及・啓発並びに日常生活用具の普及に努める
21. 関係行政機関をはじめ各障害者団体との連携を密にする
22. 未組織地域の解消と会員拡大に努める
23. 日視連・九盲連活動に積極的に参加
24. 会員の親睦と協調を図るために、各種会議やレクリエーション活動の実施（花見・七夕会・クリスマス会）
25. 盲導犬事業への協力
26. ロービジョン対策と失明予防の推進に努める
27. 大分県盲人福祉センターにおいて防災訓練を2回実施
28. 災害時要援護者対策についての調査・研究を行う
29. 盲老人ホームの建設に向けての調査・研究を実施する
30. 点字図書館を通じて、視覚障害者に関する情報収集に努めるとともに、会員に対する情報提供の実施
31. 必要に応じて視覚障害者相談事業の実施

以上

